滋賀県議会だより
第９号　令和元年８月

海東（かいとう） 英和（ひでかず）

海東英和県議会議員事務所　〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5　電話 0740-25-0777 FAX 0740-25-0778
Mail：web_info@hi-kaito.com　ホームページ http://hi-kaito.com

QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、画像を読み込み、サイトにアクセスしていただくことで、県政報告会の様子をご覧になれます。

安曇川高校
（創立53周年）

1966年4月滋賀県立高島高等学校安曇川分校として開校。
1973年安曇川高等学校に改称。

高島高校
（創立99周年）

創立1920年4月滋賀県立今津中学校として開校。
1948年県立今津中学校と県立藤樹高等女学校を統合し、
滋賀県立高島高等学校を開設

（上）高島市消防本部チームが県ロープブリッジ救出で優勝。
（下）高島市消防団朽木分団が県大会ポンプ車の部３位入賞。
小型ポンプの部も新旭第１分団第２班（安北）が大健闘。

安曇川・高島両校の魅力化へ改編「たたき台」を公表！

８月５日の滋賀県教育委員会、８月９日の県議会教育・文化スポーツ常任委員会に、県立安曇川高校と高島高校の魅力化を図るべく「たたき台」が、通常の検討スケジュールを数年繰上げ示されました。

市外へ３割以上の生徒が進学する傾向が顕著となり、数年後に生徒数は、１学年約３００人となるなど、部活動も含め熟慮が必要です。今回の改編で魅力化が図られ市外からも志望されるよう叡智を集めましょう。

魅力的学校づくりのコンセプト

令和３年４月から、地域内生徒のニーズに対応した知識・技能を習得できる教育を提供し、成績上位層が地域外へ行かなくとも進路実現・就職等が実現できるよう、生徒の可能性を最大限伸ばす手厚い教科指導や部活動教育を実践し魅力化を図るとする改編案です。（抜粋）

安曇川高校の魅力化の方向性について

現　行	学科改編後	想定する進路
メカトロニクス系列	（仮称）ものづくり系列	就職
建築デザイン系列	（仮称）建築・インテリア系列	大学や専門学校進学（工業、建築、会計、商業、情報系列）
ビジネス会計系列	（仮称）商品企画・流通系列	
ビジネス情報系列	（仮称）ビジネスICT系列	
普通科は高島へ統合	新設 （仮称）健康・保育系列	専門学校・大学等（医療、保育、スポーツ系列）

（仮称）健康・保育系列
◎**医療や保育、スポーツ関係の上級学校へ進学し、専門的な学習をするための基礎的な学力を養成**します。
◎地域医療や就学前教育、スポーツの分野で活躍できる人づくりを目指します。

○**少人数で丁寧な授業**により、国語、数学、英語の基礎学力の充実に努め、専門科目の学習につなげます。
○**インターンシップ**等を通し、自分の将来を見つめ、進路実現につなげます。**系列同士の連携**により学びを深化します。

高島高校の魅力化の方向性について

現　行	学科改編後	想定する進路
普通科 Aクラス	普通科 Aクラス	専門学校進学・就職
普通科 Bクラス（特進）	普通科 Bクラス（特進）	大学・短大・専門学校進学
	新設 （仮称）総合文理科	国公立大学進学

（仮称）総合文理科
創造的な能力や探求的な態度を養いながら、５教科を中心とする学力を磨いていく学科
◎進学に特化したカリキュラムで、**国公立大学進学を目指します。**
◎先進的な活動を行っている他校との交流や探求活動をとおして、大学進学後の先を見据えた、**創造的な能力や探求的な態度を育みます。**

○確かな学力を身につけるため**７限授業の実施**（総合文理科と普通科Bクラス）
○地域人材を育成するための、地域との協働学習の推進
○グローバルな視座を培うための**ICTを活用した海外との交流・海外実習などの推進**

R161 白鬚神社前に地下横断歩道を

白鬚神社を参拝される方は、２０１２年は15万２千人でしたが、２０１８年は、18万３千人が訪れ、最多月は５万３千人を数えます。県や市の観光キャンペーンには、湖上の鳥居の写真が多く用いられ行政が誘客しています。

来訪者の安全確保の責任があると存じますが、外国からの旅行者の無理な横断は大変危険であり、道路中央に平気で立っている人もいます。追突事故も平成 26年から平成30年の５年間で１４０件の事故が報告されており、人身事故23件のうち14件、物損１１７件のうち 55件が追突事故です。

地下横断歩道の必要性を県と市と国道が協議するよう強く訴えます。

この箇所につきましては、これまでに、国、県、警察が緊密に連携いたしまして対策を検討し、国において、安全看板の設置やカラー舗装などの安全対策を実施いただいております。

白鬚神社を訪れる観光客の安全確保は最優先であり、道路管理者である国や地元の高島市と庁内関係課が連携して、観光客への安全啓発などを徹底します。

県立学校 空調整備完遂

平成30年度事業で、追加22校（安曇川・高島も）を含む、36校９７７教室に１４５１台のエアコンが設置されました。予算は34億５千５百万円です。機器や施工業者確保ができず断念した県があるとも聞く中で、滋賀県は見事に成し遂げました。教育委員会の事務体制の工夫、建築課のサポートなど、昨年９月に議会議決してから、学校関係者と施工業者さんの献身的なご努力で成し遂げられました。滋賀県庁の素晴らしい成果をご報告します。

耕運記

命の心配を要する暑さのなか、如何お過ごしでしょうか。

お盆は、命の繋がりに思いを致す時間が持てます。両親から授かった身体と命、大切に働かせて行きたいです。

県議二期目は、自民党県議団の一員となり、より高島の皆様のお役に立つように働きます。ご報告が遅れ申し訳ありません。

人生百年時代を支える年金制度を、①受け取り年齢と額を選べる年金　②働いて収入があっても年金の減額を少なくし、働く意欲が増進するような年金。　③国民年金と厚生年金の格差を縮める。の３本柱で自民党、小泉進次郎厚生労働部会長のもとで年金制度改革が検討されています。

健康長寿の尺度を百年に延ばし、元気で秋を迎えましょう。

県政報告懇談会

8月27日（火）　PM7:30から
安曇川世代交流センター

9月中旬　PM7:30頃から
マキノ海津西浜地区の予定